

在来ネギのハウス内移植による厳寒期生産法

福島県農業試験場いわき支場
平成17年度試験成績概要

- 1 部門名 野菜－ネギ－移植、作型・栽培型
分類コード 03-37-07180000
- 2 担当者 常盤秀夫・石郷岡典子
- 3 要 旨

厳寒期の葉枯れが著しい在来ネギ「源吾」を、秋期に露地からハウス内へ植え替えることによって、厳寒期に葉を枯らさず出荷する方法を検討した。

(1)収穫時の生葉数は、ハウス内植え替えが早い程、多く維持される傾向が見られ、11月上旬までの植え替えであれば出荷に必要な生葉数3枚が確保できた。また、植え替えをせず露地においた場合は12月以降生葉が減少した。

(2)収穫時の重量は、ハウス内に植え替えた場合は100g／本を維持できたが、露地では12月以降重量が低下した。

(3)白根長は、いずれの場合でも十分な長さが確保された。

(4)抽台率は、ハウスに植え替えた区において3月上旬に急激に上昇した。

以上より、在来ネギ「源吾」を11月上旬ころまでにハウス内に植え替えることによって、厳寒期においても出荷に必要な生葉数3枚を確保できることが分かった。

- 4 その他の資料など